



園だより 5月号

Y M C A 保育園ねがい
2024年5月7日発行

「イエスは知恵が増し、背丈も伸び、神と人々に愛された」

ルカによる福音書 2章 52節

YMCAの保育園は「一般社団法人 キリスト教保育連盟」に加盟し、キリスト教保育を行っています。全国の保育園・幼稚園・こども園が共に保育を学んでいます。「園だより」では、職員の毎月の学びをご家庭のみなさまにもお伝えし、ごいっしょに園の様子をお分かちできたらと願っています。

「隣人を自分のように愛しなさい。(マタイによる福音書 22章 39節)」は聖書で黄金律と呼ばれている一番大切な教えです。まず、一人ひとりに「あなたが大好き」「あなたを大切だと思う」「ぎゅっと抱きしめたい」という思いが通じ、「愛されている」と感じられる事を自指して保育を行っています。そして、保育ではこの順番を大切だと考えています。

①自分がだれかに愛されていることを経験する②自分で自分を愛する③自分と同じように他者を愛する

今月の聖書は「救い主」キリストとして生まれたイエスさまの誕生を祝ったクリスマスから月日が経ち、成長した姿が書かれた、たった一つの場面です。この後、聖書には30才になり、宣教者(エバンジェリスト)となったと書かれています。

私は「知恵が増し、背丈も伸び、神と人々に愛された」という聖書の言葉が大好きです。人間の生命の源はどこから来るのでしょうか？生命はヒトの力では未だに生み出すことはできません。生きている今に感謝し、できればずっと命をいつくしみ、楽しく過ごすことができたら願っています。

分娩の時、今まで経験した事の無い痛みの中、「神様どうか、この子に命を与えてください。たとえ、どんな病気や困難があっても私が育てますから」と祈ったことを思い出します。

それなのに、成長する中で私が予想しなかった言動をする度にどんなに否定して怒ったことでしょう。涙の跡のある寝顔を見て、何度後悔に涙がこぼれたことでしょう。でも、子育てに困った時、いつも周囲に助けてくれる人達がいました。家族でも友人でもいっしょに子育ての時期を過ごしたことは大切な経験だったのだと思います。今でも幼馴染の友だちと子ども同士も親同士も繋がりが、良い交わりが続いている事は幸せな事だと思っています。



保育園は生活の場です。お家ではないけれど、子どもも大人も安心して過ごせる心の「ふるさと」「居場所」になるように、ご家庭と地域との繋がりを大切にしていきたいと願っています。(園長 今井世都)

「あさがお」の種をまいて育てています。
種は卒園児が持ってきてくれました。